

<未受精卵子凍結を希望される方へ>



松田ウイメンズクリニック

## はじめに

近年がん治療の進歩によって多くの方が病気を克服できるようになってきました。しかし、抗がん剤や放射線のがん治療は、がん細胞を減らす一方で正常な細胞にもダメージを与えるため卵巣機能に影響を与える可能性があります。

当院では、がん治療前の妊よう性温存（妊娠する力を残しておくこと）のために、未受精卵子を凍結保存する治療法を提供しています。

## 初診から未受精卵子凍結までの流れ

### 1. 予約時間の 15 分前に来院

受付でカルテを作成し、問診票の記入をしていただきます。

### 2. 医師の診察

### 3. 看護師からの必要な検査の説明と採血

### 4. DVD にて体外受精、未受精卵子凍結の説明

### 5. 臨床心理士の面談（初回無料、2 回目以降 2000 円）

### 6. 体外受精のスケジュール作成

月経周期によっては初診時にスケジュールを作成し、ただちに治療を開始することもあります。

①卵巣機能（卵巣の働き）などの検査結果をもとに卵胞（卵子を包んでる袋）を育てる為の薬（注射や内服薬）の使用方法を決定し、スケジュールを作成します。

②採卵（卵胞に針を刺して吸引し卵子を採取する）にむけて毎日の注射が開始となり、適宜、経膈超音波検査やホルモン検査（採血）を行い、卵巣内の卵胞が最適な大きさ（約 18mm）になるのを待ち採卵日を決定します。

\*排卵誘発剤（卵胞を育てる薬）投与により、卵巣過剰刺激症候群（卵胞が過剰に発育し、卵巣が腫れたりお腹にお水が貯まったりする）など副作用を生じる可能性があります。

多くの場合は軽症ですが、まれに血栓症などの重篤な副作用を生じる場合もあり、入院が必要になることもあります。

③採卵は、麻酔（全身麻酔または局所麻酔）を使用し超音波下で膈から穿刺を行います。

\*極めて稀にですが、卵巣や膈からの出血、まれに周辺臓器（腸や膀胱など）の損傷、感染症のリスクがあります。

④未受精卵子凍結保存の結果は、採卵翌日に電話で確認して下さい。その後改めて来院して頂き凍結した未受精卵子の説明をしますので受診の予約をして下さい。

⑤未受精卵子の凍結保存は1年毎の更新が必要となります。1年の保存期限の2ヶ月前から更新の手続きが可能ですので予約をして来院して下さい。その際に、現在の病状や治療内容などを確認させていただきます。

#### ☆その他の注意事項

- ・がん治療が優先治療となるため、がん治療の時間的猶予が短い場合や主治医の同意が得られない場合は、未受精卵子の凍結に向けた治療を断念しなければならないこともあります。
- ・採卵を行っても卵子が取れない場合があります。(高齢や卵巣機能低下の場合)
- ・融解後(解凍した後)未受精卵子が生存しない可能性があります。(凍結によるダメージ)
- ・凍結保存・更新は1年毎にご本人の同意が必要となります。更新書にはご本人の署名、捺印が必要です。

#### がん治療の主治医から妊娠の許可がでたら

- \*がん治療の主治医より妊娠許可がでたら、妊娠を希望される際に改めて診察予約をして下さい。  
必ず、紹介状を持参してください。

#### その他の事項

- ・受精しても胚の状態によっては移植できない場合があります。
- ・当院での胚移植は、女性の年齢を50歳までと定めています。
- ・検査や治療に関わる費用は全て自費(保険適応外)になります。  
料金詳細は別紙体外受精料金表をご参照下さい。
- ・県の助成金制度の申請が出来ます。(通算2回まで、43歳未満の方)